

平成 28 年度屋久島異文化交流セミナー実施報告書

鹿児島大学グローバルセンター

市島佑起子・津田佳織

本報告は、平成 28 年 11 月 14 日～16 日に実施した「屋久島異文化交流セミナー」の実施状況に関するものである。セミナー実施は、平成 24 年 3 月及び 8 月に実施したセミナーのあとを受けて準備された 6 回目の企画であり、学長裁量経費を認められた(項目番号 4-6「留学生グローバル化推進事業」)。昨年度に引き続き、屋久島町立中央中学校で、留学生によるポスター発表を中心とした異文化交流会を行う事、屋久島環境文化財団が実施している里めぐりをプログラムとして取り入れる事などを盛り込み、本セミナーの準備が進められた。以下、本報告書の執筆は、グローバルセンター市島と津田が担当する。

1. 異文化交流セミナーについて

1.A 実施状況

以下、本セミナーで行った主な活動について報告する。

●異文化交流会（屋久島町立中央中学校）

屋久島での異文化交流セミナーは今年で 6 回目を迎えた。昨年から屋久島町立中央中学校での実施となった異文化交流会は、中央中学校 1 学年の総合的学習の時間 2 コマを活用し、留学生と中学生の相互交流を目指して、中央中学校の橋口校長先生、柳田先生を始めとする多くの方にご協力を頂き、実施にこぎつけたものである。具体的には、(1)中学生による合唱パフォーマンス、(2)留学生によるポスターセッション、(3)交流クイズゲームの 3 活動を行い、全体を通した進行・活動は全て日本語で行われた。参加者が体育館に集合した後、市島司会のもと、少し緊張した雰囲気ではスタートした。生徒全員による合唱パフォーマンスを 10 分程見学した後、ポスターセッションにうつった。まずは留学生全員が中学生の前に立ち、日本語でごく簡単な自己紹介を行った。十分な広さの体育館をめいっぱい使おうと壁に沿って設置されたポスターの横に、参加留学生 11 名がスタンバイした。今年度は参加留学生が 17 名となったため、ポスター 11 名、交流クイズゲーム 6 名に担当を分けて準備を行ったが、クイズゲーム担当の学生も、誰かのポスターの横にスタンバイして、発表を補助する役割を担った。ポスターセッション開始後、あらかじめグループ分けされた中学生数人が、目指すポスターの元へ駆け寄る。ポスターセッションは、留学生が各自作成したポスターに基づき、発表と質疑応答を自由に行う形をとった。10 分を 1 セッションとし、時間が来るごとに中学生の団体は次のポスターへと移動する。留学生に対して、ただ自分の国の紹介をするだけでなく、できるだけ相手との質疑応答を通して交流し学ぶようにと伝えていたが、その姿は堂々たるものであった。どのコーナーも個性的で、なかなか質問が出ない中学生を指名して、会話を引き出そうとする者、こっそり持参したアイテムで中学生の注目を惹きつけるものなど、会場は予想を上回るにぎわいとなり、10 分のセッションはあっという間に時間が過ぎている様であった。ポスターセッション終了後、10 分の休憩をはさみ、交

流クイズゲームへ突入。留学生1名と中学生数名がチームとなり、クイズにA/B/C/Dの4択で答えるというもので、ルールは簡単。ただし、チーム全員が日本語で相談しながら協力しなければ勝ち抜けず、屋久島から留学生の出身国の事まで幅広い問題が出される上に、答えが分かたらチーム全員でA~Dのブースに走っていかなければならない。問題作成・司会・グッズ作り等、全て留学生自身の手で準備が行われた。簡単な問題のうち、全員が1つの選択肢に集中していたものの、中盤からは意見が分かれ、そのたびにグループ内での相談が行われる様子が見られ、非常に自然な形で交流が行われたものと感じている。ゲーム終了後は体育館中央に全員が整列してお別れの会がスタート。中学生、留学生の代表者各1名がお礼の言葉を述べ、橋口校長先生のご挨拶を頂いて交流会は無事に終了を迎えた。その後、会場の片付けが終わりかけた頃、元気な男子生徒から踊りのプレゼントがあったり、体育館から校舎へ移動を開始すると、どこからともなく生徒が集まってきて話しかけられたりと、留学生達には嬉しいハプニングが続出した。帰りのバスの中は程よい疲れと充実感に満ちており、時間をかけて準備をした留学生達も満足げな表情であった。



●自然体験等（千尋の滝、ヤクスギランド、ナイトハイク、里めぐり）

本セミナーでは、4つの自然体験を実施した。初日は、屋久島環境文化村センターの見学を通して屋久島の概要を学んだ後、バスで千尋の滝へと向かった。当日はあいにくの雨模様だったが、目の前に広がる大きな滝に歓声が上がり、しばらくは写真撮影タイムとなった。駐車場と千尋の滝展望台まではほんの数分の道のりながら、木々について研修センタースタッフから説明を受け、屋久島ならではの自然に親しんだ。

翌日は朝からヤクスギランドへと出発。3班に分かれ、50分コースを約90分かけてゆっくりと廻った。散策中は珍しい植物や木々の解説に始まり、屋久島の人々が自然とどのように関わってきたか、また、現在はどうのように保護が行われているかといった事まで、幅広い説明が行われ、自然の中で身を持って体感しながら学べる有意義な機会となった。楽しみにしていた屋久鹿や屋久猿には会えなかったが、天気にも恵まれ、豊かな屋久島の森を存分に体験する事ができた様に思う。

宿舎で夕飯をとった後はナイトハイクへ出発した。ナイトハイクがどのような体験か知らされないまま、2班に分かれ研修センターを出発。暗闇の中で、移動中話してはいけない事、列に並んでスタッフの後ろについていく事だけが指示された。それぞれの班が一行になり、暗闇の中を歩きだす。目ではなく耳で自然を感じるというのがこのハイキングの目的だそうだ。この日はスーパームーンが観測できる日であり、さらに夜は快晴の天気。月明かりだけで前が見える程の天候に恵まれ、そのせいでいつもより星がよく見えないという影響もあったが、美しい月夜の元、10分以上歩いた所で広い草むらに到着。離れて腰を下ろし、「自分の好きな事だけを考えて下さい」との指示があり、しばしの静寂。数分間、思い思いの時間を過ごす、円になって集まる様声がかかった。数分間に考えた事を皆で共有する事になり、自然について考えたもの、母国や家族について考えたもの、生活をふりかえったものなど内容は様々であったが、それぞれ非日常的空間で、あれこれと考えを巡らせたのであった。

最終日は、昨年度に引き続き「里めぐり」に参加した。研修センターから最も近い「春牧（はるまき）」地区でのツアーでは、複数の語り部さんから説明を頂きながらの集落めぐり、自然体験、酒蔵見学、手作りの郷土料理を味わう事となった。紙芝居で易しく解説して下さった盛久神社、シダ飛ばしを体験させて頂いた松峰大橋など、通常の旅行ではできない体験をさせて頂いた。その後春牧集落集会場へ戻り、郷土料理での昼食タイム。ほとんどの料理に屋久島の食材が使われているという解説を聞きながら、そして箸を進めながら、改めて屋久島の豊かさを感じる時間を過ごした。



●募集～事前準備

中央中学校でのポスター発表を想定して、募集対象は留学生センター開講の日本語クラスレベル4以上の留学生とした。(昨年度はレベル5以上の学生を対象としていたが、参加希望者が少なかったため、今年度はレベル4以上を対象とした。)10月に学生募集を行ったが、希望者が予想を上回り、計17名の学生が参加する事となった。詳細は以下の通りである。

【参加留学生17名内訳】

- ・男7名、女10名
- ・4か国(中国、韓国、トルコ、ブラジル)
- ・交換留学生13名、日研生2名、研究生1名、大学院生1名
- ・日本語中級9名(レベル4・5)、上級11名(レベル6・7)

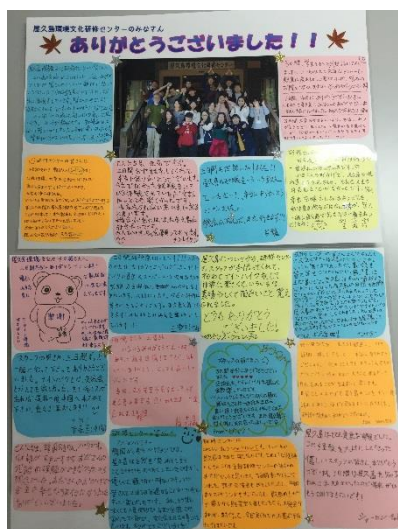
【留学生ポスターテーマ】

- ・中国で最大の行事—春節・中学校の生活(中国)・スペシャル中国(火鍋と温泉)
- ・韓国の紹介
- ・韓国に行こう!
- ・大変!韓国人の青春
- ・韓国のお金
- ・文化的な国トルコ
- ・ようこそブラジルへ

また、参加者決定後は以下の通り事前学習を実施し、研修当日に備えた。

- ・事前学習(全4回、毎週月曜日4,5限) 10/17、24、31、11/7
- ・事後学習及びまとめ 11/21

尚、後日、中央中学校生徒さんよりメッセージを頂いた。参加留学生も、中央中学校・研修センターへそれぞれ写真つき寄せ書きを作成、送付した。



中央中学校・研修センターへ



中央中学校より届いたメッセージ

<日程詳細> (2016. 11. 14-16)

11/14(月)	10:00	グローバルセンター集合	Meeting place: Global Center
	12:00	鹿児島港出発	Departing from Kagoshima port
	13:50	宮之浦港到着	Arriving at Miyanoura (Yakushima) port
	14:20	★文化村センター(映像学習)	★Yakushima Village Center (video)
	15:30	文化村センター出発	Departing from Village Center
	16:30	★千尋の滝 見学	★Senpironotaki (a big waterfall)
	16:50	千尋の滝 出発	Departing from Senpironotaki
	17:20	★研修センター着	★Arriving at the Yakushima Cultural Center
		オリエンテーション	Orientation
	18:30	懇親会	Mini party (with staff/dinner)
	21:00	入浴	Shower
	22:00	就寝・研修センター宿泊	Stay overnight at the center

11/15(火)	7:00	朝食(センター食堂)	Breakfast (In cafeteria of center)
	8:00	研修センター出発	Departing from Yakushima Cultural Center
	8:40	★ヤクスギランド観察	★Yaku cedar land: natural experience
	11:00	昼食(弁当)	Lunch (Bentou)
	11:30	ヤクスギランド出発	Departing from Yaku cedar land
	12:30	★中央中学校到着	★Arriving at Chuo-junior high school
	12:40	準備・校内見学	Prepare for poster session/school tour
	13:55	交流会開始	Intercultural Seminar (poster)
	15:45	終了・片付け	Cleanup
	16:30	中央中学校出発	Departing from Chuo-junior high school
	17:00	★研修センター着	★Arriving at the Yakushima Cultural Center
	18:00	夕食(センター食堂)	Dinner (Cafeteria of center)
	19:40	ナイトハイク&星空観察	Night hiking & stellar observation
	21:00	入浴	Shower
	22:00	終了・研修センター宿泊	Stay overnight at the center

11/16(水)	7:30	朝食(センター食堂)	Breakfast (In cafeteria of center)
	8:50	研修センター出発	Departing from Yakushima Cultural Center
	9:30	★里のエコツアー(春牧)	★Yakushima Ecotour (Harumaki area)
	11:30	昼食(郷土料理)	Lunch (local dishes)
	12:30	春牧地区出発	Departing from Harumaki area
	13:00	閉講式(村センター)	Closing ceremony (Village center)
	16:00	宮之浦港出発	Departing from Miyanoura (Yakushima) port
	18:05	鹿児島港到着	Arriving at Kagoshima port

1. B 異文化交流セミナーのアンケート結果について（対象17名）

（注）自由回答についてはできる限り原文に近い形で自然な日本語に修正した。

No.	項目	とてもよい とてもできた	まあよい まあできた	あまりよくない あまりできない	よくない できない
1	募集方法	17	-	-	-
2	事前説明	15	1	-	1
3	【11/15 交流会】準備	4 大変	1 まあ大変	11 少し大変	1 簡単
4	自然体験（滝・ヤクスギランド）	16	1	-	-
6	食事	9	8	-	-
8	移動（船・バス）	14	3	-	-
9	【11/15 交流会】日本語でのコミュニケーション	12	5	-	-
10	【11/15 交流会】中学生の発表	15	2	-	-
11	【11/15 交流会】ポスター発表	12	4	1	-
12	【11/15 交流会】交流クイズ	14	3	-	-
13	【11/15 交流会】交流会を楽しめたか	17	-	-	-

（単位：人）

【No. 5 自然体験へのコメント】

- ・とてもよかったですと思います。ヤクスギランドでいろんな自然風景、屋久杉も見せていただいて本当に感心しました。今まであまりない経験だから、非常に有意義だと思いました。
- ・研修センターのスタッフさんから説明やお話を聞かせていただいて、とても理解しやすかったです。ただ見ることで終わるのではなく、説明が加わって、もっと見えたし、もっと楽しかったです。
- ・私の故郷にも大きい山がありますが、こんなに古い森はありませんでした。屋久杉ランドは本当にすごかったです。
- ・千尋の滝はすごく印象的でした。自然が作り出した景観の中で立っていることが、今現在との乖離感に感じられて、まるで古の時と今がつながっているかのように感じられました。
- ・屋久島異文化交流セミナーのおかげで、世界遺産としての屋久島で屋久杉と千尋の滝を見られ、屋久杉の森でナイトハイクが体験できることが何よりも有意義なことだと思う。そのような自然体験によって、自分自身が本当の屋久島の現状と生活が理解でき、世界遺産としての屋久島の魅力も感じられたのである。
- ・人が少なく、静かで自然を楽しめました。また、スタッフから詳しく説明していただき、大変勉強になりました。すごく楽しかったです。
- ・スタッフの皆様と一緒に歩きながらいろいろ教えてくれてもっと楽しかったと思います。完璧には理解できませんでしたが勉強になりました。私は登山も、ナイトハイクも全部よったんですけど、多くて綺麗な星が見られたのが一番思い出になりました。静かなところだったので、いろんなことが考えられました。

- ・ヤクスギランドで初めていろいろな木の種を見て、滝が非常にきれいで、夜空を見るためのナイトハイクはファンタスティックでしたので忘れられません。屋久島の自然はとてすばらしいと思います。
- ・自然体験はとて良かったですが、私は縄文杉に行きたかったのですが体験の中に縄文杉はなかったです。
- ・雨の降らないもっとすばらしい千尋滝が見れたら良かったな～って思うんですが、ナイトトラッキングも出来たし、屋久杉ランドで自然を感じることもできてうれしかったです。屋久杉ランドのコースが少し長くてもいいと思います。(サルにも会いたかったです。)
- ・本当に自然の懐に帰った感じ。自然にこんなに近く触れられるのはとて幸せだと思う。
- ・素晴らしかった、自然な森に空気がいいです。
- ・That was very good. Good air good nature good teacher. I was so happy. I don't have any complain about nature trip. (とても良かった。いい空気、素晴らしい自然、いい先生。とても幸せでした。この自然体験について不満はありません。)
- ・世界遺産登録地としての屋久島の景色はとて美しかった。仏陀杉、くぐり杉、くぐり梅など色んなスポットを拝見しました。ナイトハイクも心に残り、思い出します。これから自分の力をもっと注いで自然を保護します。
- ・とてよかったです。
- ・I am delighted to having experienced such a valuable time. Yakushima has a unique nature similar to none. Every inch of the island was surrounded with amazing natural sights worth gazing upon. (このような貴重な体験ができて嬉しい。屋久島は他のどこにも類似しない独特の自然を持っている。島のすべてが見るに値する驚くべき自然の風景に囲まれている。)
- ・夜空を見て本当に忘れられない思い出になりました。たぶんこれから困った時や、迷った時はあの時の空を思ったら、すぐ明るくなれるだろう。ずっと自分の体力に自信がないですが、あの日の二時間のヤクスギランドをチャレンジしたら全然大丈夫でした。よかったです。これから自分の体力に自信もありました。

[No. 7 食事へのコメント]

- ・屋久島らしい食べ物を頂きました。ありがとうございます。朝から魚を食べる経験が一度もないから、とて新鮮な食事経験でした。一番印象に残ったのは屋久島の美味しいお水でした。美味しくて美味しくて鹿児島に帰っても屋久島産のお水を買ってます。こんなに美味しい料理を作っていただいたセンターのスタッフさんたちに感謝しています。
- ・私はあまり魚が好きではありませんが、大丈夫でした。鹿肉は本当においしかったです。
- ・全般的に全部おいしかったです！
しかし、(特にお肉ではなくてもいいですが、) お魚の料理が多かったですね。
お弁当を食べるときは、暖かい味噌汁があってもよかったです。
- ・日本で暮らしてても一人暮らしなので魚や定食が食べられないんですが、今回とびうおやサーモンなどいろいろな魚の定食が食べられて美味しかったです。特に春牧町で食べた昼ごはんが美味しかったです。
- ・旨味が一杯出来たお料理を頂きました。特に鹿肉が初めてでした。お弁当も屋久島限定版と思いますが、食べたことがないお野菜も美味しかったです。大満足です。
- ・食事は大体満足しました。もともとサーモンが好きなので、サーモンが一番美味しかったです。ご飯も、みそしるも美味しかったです。皆で食べられてもっと美味しかったと思います。

- ・量が多くて、よかった
- ・All meal was Awesome. I can feel real taste of Japan.
(すべての食事が良かった。日本の本当の味を感じることができた。)
- ・おいしいです、またたべたい。
- ・Meals were great! Deer meat was the best. (食事は良かった！鹿肉が一番良かった。)
- ・魚と薩摩揚げが中心だったと思います。初日は良かったんですが、それ以降の食事にもお肉は全然出なかったし、魚種類の食べ物が多かったので、魚が駄目な人にとっては大変ではなかったかなと思います。
- ・屋久島の中で伝統的な料理は魚が分かりますが、朝ごはんから晩ごはんまでのことあまり好きではありません。
- ・食べ物は大体美味しかったが、全員一緒の交流会が日本で一番忘れがたい交流会だった。中国人だから、冷たい御握りより熱い食べ物のほうが好きだった。
- ・美味しかったです。でも、量がちょっと多いと思います。
- ・ご飯の味は良かったですが、いつも魚を食べるのがちょっと大変でした
- ・おいしかったです。魚がちょっとしょっぱいのを除いて完璧だと思います。
- ・一日の三食の中で全部魚があって、ありがたいですが、ちょっと苦手です。鹿の肉まで食べられて良かったです。すごくおいしかったです。

[No. 14 交流会へのコメント]

- ・屋久島中央中学校との交流会は楽しかったです。留学生としてなかなかできない経験でした。非常に大切だと思っています。中学生たちは私たちが思った以上に親切に接してくれてところが温められました。教室までも見せていただきまして自分の中学校生活を思い出して懐かしい気持ちが出てきました。ポスター発表もクイズも大成功だと思っています。色んなことを経験してたくさん勉強しました。もしこういう交流会があったら、また参加したいです。
- ・日本の学校に行ってみたかったですが、屋久島研修を通して実際行くことができ、とてもうれしかったです。中学生に案内してもらったりして学校の中に入って、いろいろ見て回りました。その上、そこで勉強している学生さんたちに自分の国についてお話したり、クイズをしながらお互いについて知る機会がとても有意義な時間だったと思います。
- ・本当にいい経験でした。発表の準備を熱心にしましたが、学生の前では緊張して話をよくできなかったです。それがすこし残念でした。ゲームや他の交流は楽しかったです。
- ・私は初めて大学と地域社会の関係を見ましたので、喜んでいました。最初、私にはちょっと無理だと思いました。ですけれども、毎週で先生の指針をもらいましたから自信を得ました。それに中央中の係りの人はとてもやさしいし、中学生が元気だし、このもらった経験が忘れられません。
- ・中学生たちはみんな元気で、積極的に私たちの交流活動に参加したり、遊んでいたりして、すごく楽しかった交流会だと思った。また、中央中嵐(二年生)の踊りも素晴らしかった。
- ・予想以上に出来た。
- ・交流会はとても楽しかったです。ポスターの前に緊張しましたが皆さん優しく大丈夫でした。
- ・今回の交流会によって、中央中学校の学生達と少し親しくなり、いい友達になりました。各国の文化を中学生に紹介することを通して、お互いの理解・認識を深めました。また、屋久島の自然遺産の魅力を感じることも出来て、自然の重要性、人間と自然の共生はすごく重要であることもしみじみ感じていました。今回の活動は大変有

意義だと思います。

- It was fun. (楽しかった。)
- That was meaningful experience. I could feel their pure heart which made me happy.
(意味のある体験だった。彼らの純粋な心を感じることができ、幸せになった。)
- 交流会じゃなかったら日本の学校に行ってみる機会は絶対ないと思います。韓国の教室と似ているような似ていないような教室を見て、中学生ころを思い出しました。ポスター発表はとても楽しかったです。でも、中学生たちはつまらなそうな顔をしていたので、私の説明が面白くなかったのか心配になりました。
- とてもいい交流会だと思います。屋久島についていろいろ勉強になりました。今回の交流会を通して、自然と仲良くする、自然を守るということの意味や意義を深く理解しました。
- 行けなくて残念でした。
- 皆さん元気で、よかったです。
- 中学生たちはとても積極的に参加してくれてうれしかったです。みんなの笑顔は素晴らしかったです。これをきっかけに私の国に興味をもってくれたら何よりです。
- 鹿の肉は初めてだったんですけど、とても美味しかったです。もちろん刺身も美味しかったです。準備してくださってスタッフの皆さんにもう一回「ありがとうございます」って伝えたいです。
- まずは鹿児島大学の先生と屋久島研修センターのスタッフさん達に感謝の意を申し上げます。三日間お疲れ様でした。お世話になりました。今回の研修は自然景色を初め、町、人と出会えて感心しています。世界遺産登録地としての屋久島の景色は最高と思って、自然を大切にしなければなりません。そしてセンターのスタッフも中学校の学生また先生も春牧の方も皆親切で、自分も屋久島の方々とのコミュニケーションを通してこの島の物事を学びました。そして最初は島生活が不便と思って、でも行ってみればとても居心地の良い所です。今後チャンスがあればこの島にもう一度行ってみたい。
最後に改めて三日間にずっと一緒に行ってくれた皆にありがとう!

[No. 15 屋久島研修で一番思い出に残ったこと]

- 屋久島研修で一番思い出に残ったことは二日目のハイキングでした。運がよくてすごく晴れた夜をゲットしました。そして、携帯も持たずにライトもなく静かに山の中でハイキングしました。普段都市に住んでいる私たちにはとても有意義な経験だと思いました。スーパームーンも見られてラッキーでした。日常生活の悩みから逃げて静かな山の奥で一人でいられたということは贅沢だなと思いました。一生の思い出として大事にします。
- 屋久杉ランドに行ったことです。自然のすばらしさを感じました。
- 夜の屋久島の土地で寝ながら星空を見た時が一番記憶に残ります。
- All of parts. That was Perfect trip. (すべての部分。すばらしい旅行でした。)
- 里のエコツアーがとても有意義で、本当に勉強になりました。特に解説してくださった方が、私がした質問に丁寧にお答えくださって良かったです。
- 中央中学校で中学生たちとの交流会と屋久杉の森でのナイトハイクが一番忘れがたいものだと思う。
- 中学生からいただいた「心からなる友達」はすごく感動して、泣きました。皆は皮膚や国、言語などが違って、愛や友情などの純潔な心を持っていれば、友達になれると思います。
- 一番思い出に残っているのは交流会です。皆で美味しいのを食べながら、ゲームをやったことは本当に楽しかったです。交流会を通じて今まで話したこと無い友達とも話すことができました。ナイトハイ

クで星を見たのも思い出に残っています。今まで暗いところは怖いと思って聴力を使う練習もやったことなかったんですけど、静かで、涼しくて、色んなことが考えられてとてもよかったです。

- ・ナイトハイクとヤクスギランドでした。ヤクスギランドの全部を見なかったのもう一度全部行って見たいです。
- ・夜のハイキング
- ・以後チャンスがあれば、行かなかった景観スポットも一度見てみたい。
- ・Being able to experience both the nature and the culture. (自然と文化の両方を体験できたこと。)
- ・みんな一緒に話し合ったり、色んな屋久島のことを勉強したり、写真を撮ることです。
- ・屋久杉ランドとナイトトラッキングが一番楽しかったです。
- ・ヤクスギランドでの見学は、屋久島のことや森のことをいっぱい勉強した。

[No. 16 屋久島研修中に困ったこと] ※「特に無し」のみは省略

- ・大体素晴らしかったが、困ったことはない。
- ・困ったことはありません。ただずっと雨が降ったので 雨着を準備したらよかったなと思いました。私はタオルも充電器も忘れて困っていましたが、おださんが手伝ってくれて助かりました。
- ・シャワーは先生の部屋になかったら大変になる可能性がありました。
- ・日本語はまだまだだから、時々屋久島の紹介が分からなかった。
- ・朝にはお風呂を使えないことが少し大変でした。市島先生の部屋のシャワー室を借りてもらったんですけど、朝早くて先生に申し訳なかったです。
- ・ありませんでした。ご配慮いただきまして、ありがとうございました。

[No. 17 屋久島研修中への要望や改善点] ※「特に無し」のみは省略

- ・Already perfect. (すでに完璧。)
- ・仕方ないことだとは思いますが、屋久島のことを垣間見るくらいだったと思えてなりません。もっといろんなどこに行けなかったことが、残念に思えます。
- ・素晴らしい研修活動だと言え、ナイトハイクの時間がちょっと短い、少々長くしたほうが良いと思う。
- ・中央中学校の中学生と交流していましたが、時間がすごく短かったので、まだお互いによく分かっていないと思います。もう少し時間を延ばしていただきたいです。
- ・中学生との交流会がもっと長かったらいいなと思いました。
- ・三日間は私にとって少ないと思います。そしてヤクスギランドの一番長いほうが良いと思います。
- ・大満足!
- ・食事はあたたかいものがあつたら最高です。

[No. 18 何か付け加えたい事があつたら自由に書いてください]

- ・先生たちと staff さんたち みんな とても ありがとうございました! 楽しかったです。
- ・永田集落の亀をみたい。
- ・サルと鹿に会いたいです。研修センターのスタンプが治つたらもっともっと楽しい思い出になると思ひ

ます。

- 全部述べられないですが、たくさんの方にいろいろなことについて感謝しております。お疲れ様でした。
- 屋久島で一緒にしたたくさんの人たちにありがとうございます。

*アンケート結果について

4段階評価の部分については、おおむね肯定的評価が多かった。否定的な評価がやや目立ったのは、交流会準備及び日本語でのコミュニケーションであり、つまりは自分自身がどれだけでできたかを振り返った結果である。自由コメントでも、肯定的な意見が多く見られた。中央中学校での異文化交流会、ヤクスギランド、ナイトハイク等の活動を楽しんだだけでなく、研修センタースタッフをはじめとする屋久島の人々また参加した留学生同士との温かい交流ができたことを思い出としてあげているものが目立った。特に、中央中学校での交流会について、準備の大変さや日本語でのコミュニケーションによる不便さよりも、中学生の熱心さと、活動を楽しめた自身の嬉しい思いが読み取れる意見が多かった事は、参加留学生が有意義な「異文化交流」を実践できた証と言えよう。改善点として、食事についての意見が見られたが、異文化交流セミナー全体として、方法、内容とも安定した評価を得たものと思われる。

2 総括

6回目となる「屋久島異文化交流セミナー」は、今回も充実した事業であった。昨年に引き続いて中央中学校での異文化交流会の機会を得る事ができ、非常に有意義で実のある活動ができた。これは、参加留学生にとっても、企画した私達スタッフにとっても大変幸運な事であった。特に、ポスターセッションの際、興味を持って熱心に聞いて下さった中央中学校の生徒さんの姿は、留学生に深い達成感と思い出を残してくれたように思う。本事業に「異文化」という言葉が使われているのは、単に留学生と日本人が交流する場が設けられる場だけではなく、留学生同士、スタッフも含めた多くの人に関わる事で、お互いを少しでも理解しようという目的が根底にあったからである。私たちの住む世界は一樣ではなく、鹿児島と屋久島の間にも文化差は存在するし、留学生と一言でまとめられる彼らの世界は想像以上に広いものである。限られた時間の中でお互いが持っている知識や考えを自由に語り合える場をどのように作るという意味では、留学生が主体的にこの事業にかかわる事で、更なる一歩を踏み出す事ができたと考えている。

また、自然体験・里めぐりも大変充実した内容であった。留学生にとって、屋久島の美しい自然環境を体験できたこと、暖かく迎え入れて下さる屋久島の人々と交流できたことは、今後の学びの貴重な示唆となるであろう。天候にも恵まれ、短い時間ながらも屋久島の様々な面を見られた事は、大変幸運であった。さらに、実施にあたって、留学生特有の食事制限や文化的配慮、言葉のコントロール等、研修センター小田様をはじめとする皆様には格別のご配慮を頂いた。外国人といえば英語で説明するといった画一的な受入ではなく、参加留学生の顔を見たご対応を頂いた事は、大変ありがたく貴重な経験であった。

近年、大学のグローバル化が叫ばれると同時に、ローカルである地域とのつながりもまた

ます重要視されている。地域とは一体どこなのかは考え方によって多様であろうが、鹿児島が本学留学生にとって第二の故郷となり、つながりを深めるためには、鹿児島でのよき学び・経験・思い出が不可欠である。留学生と鹿児島がつながり、よき理解者が増える事は、地域活性化という面でも大きな意味がある。今後も、地域の力を借りながら、留学生の学びという視点を忘れず、さらに試行錯誤を重ねて行きたいと考えている。

本事業の実施にあたり、並々ならぬご支援、ご協力をいただいた環境文化研修センター・屋久島環境文化財団・環境文化村センターの皆様、鹿児島大学学長及び事務局、屋久島中央中学校等関係者のみなさま全てにこの場を借りて心より御礼申し上げます。

市島 佑起子（鹿児島大学グローバルセンター 講師）
津田 佳織（鹿児島大学グローバルセンター 特任専門員）